**【選択】N2文法強化2**

**次に　(Aー＞ー＞B　　Aの次に、Bが起こる）**

**１.前文の後で、次に起こることを後文で表現する**

⑴　地図で調べた**ところ**、郵便局まで意外に近いことが**分かった**。

⑵　学生である**以上**、アルバイトは夏休みだけにし**たい**。　（〜ともり、〜べき）

⑶　どんな試験でも受験する**上は**、合格したいと思うはずだ。

⑷　テストをした**うえで**、学生たちのクラスを決めます。

＜文法確認＞

⑴　Vた形＋ところ、B　＝　Aたら、その結果＝＞B

A=た形　B=わかったこと、新しい発見、びっくり！

納豆を食べて見たところ、美味しいことがわかった。

任天堂（にんてんどう）の面接を受けたところ、合格しました。

⑵　Nである・あ・V普通形＋以上は、　＝　Aだから＝＞当然/必ず

量学する以上は、日本語がペラペラになりたい！

N2を受ける以上（葉）、日本で働くつもりです。

　、１２０店以上は取りたい！

⑶　「〜以上」と同じ　硬い表現　formal

Google で働く上は、全力で頑張りたい！（決心・助言　ほうがいい・判断　〜はずだ）

⑷　Vた/Nする＋の上でB　=　まず、A＜おして、それからB

A＝条件

まず、履歴書を書いた上で、面接に来てください。。

＜練習＞

問題①　（　　）の中の正しい方を選びなさい。

1.　リーダーに選ばれた（上で・上は）頑張ります。

2.　クラスで約束した（以上は・ところ）、自分だけが破るわけにはいかない。

3.　道を左に曲がった（上は・ところ）、そこは工事中で進めなかった。

4.　夫婦で話し合った（上は・上で）家を購入することにしました。

問題②　正しい文に〇、そうでない文に×をつけなさい。

1.（O）教師である以上は、生徒のことを考えるのは当然だ。＝＞うえは

2.（X）夜中に帰ってきた上は、父に見つかるそう・はず・だ/に違いない。

3.（X）地震が来たところ、大きな地震だ。

4.（O）試着してみた上で、この洋服を買うかどうか決める。

5.（O）会議に参加できない理由がない以上は、参加するべきだ。

6.（X）キムさんの家を訪ねて**（O:た）**ところ、留守でした。

**2.前文のあとで、続けて起こることを表す**

**次に　(Aー＞ー＞B　　Aの結果、Bが起こる）　結果 result**

⑴　寝坊して、急ぐ**あまり**、家に大事な書類を忘れてきてしまった。

⑵　彼女はいろいろ/さんざん迷った**あげく（のに）**、一番高い靴を買った。

⑶　二人は考えた**末（あと）**、離婚を決断した。

⑷　先生の傘を借りた**きり（から）**、返していない。

＜文法確認＞

⑴　A/V普通形・Nの＋あまり、B　＝　Aしすぎて、B/とてもAので、B

心配する・緊張ー＞心配するあまり・心配のあまり

緊張のあまり、スピーチができなくなってしまった。

　 、（話すことを全部忘れてしまった）

N1に合格して嬉しいあまり、ビールを飲んで喜んだ。

⑵　Vた/Nのあげく、B　＝　Aの結果、B　（残念な結果）

散々も酔いましたー＞病院に、到着できなかった。

ー＞さんざん迷った挙げ句、病院に到着できなかった/同じ場所に戻ってちゃった。

⑶　「〜あげく」と同じ　・　Vた/Nの末（に）、B　＝　Aの結果B　（残念ではない、「やっと」です）

いろいろ/散々　悩んだ末、卒業したら、国に帰ることにした。

エジソンは、試行錯誤（しこうさくご）の末、電球を発明した。

⑷　Vた＋きり、〜ない。　＝　Aをしたのが最後で、　（その後ずっと）

Aさｎに会ったきり、連絡がない。

＜練習＞

問題①　正しい文に〇、そうでない文に×をつけなさい。

1.（X）スーツケースが重くてあげく、持てなかった。ー＞重かったあまり

2.（O）父は黙ったきり、何も言わず食事を続けた。

3.（O）上司と相談の末、本社にお客様トラブルの報告をした。

4.（X）弟は全部食べたあげく、おいしいと言った。ー＞末

5.（X）先生とは一度電話で話すきり、二度と話していない。ー＞話した

問題②　〔　　〕の中から適当な言葉を選んで（　　）に入れなさい。

〔　あまり　　あげく　　末　　きり　〕

1.彼は私が初めて作った料理を一口食べた（きり）、食べるのをやめてしまった。

2.彼女は悩んだ（あげく）、仕事を辞めて寝たきりの母の世話をすることにした。

3.話題のホラー映画を見に行ったが、怖さの（あまり）、声も出なかった。

4.Ｂ社との裁判が続いた（末）、うちの会社が勝利した。